

1. 活動テーマ

<テーマ>

絵本

<テーマ設定理由>

○キッズタウンむかいはら保育園にはクラスの本棚の他に絵本コーナーが3ヶ所があり、特に2階の絵本コーナー（30㎡）には、子どもが自由に好きな絵本を選べる環境を作り『絵本』に力を入れている。

『絵本』を通して興味関心を広げたり、調べたいという探求心、物語からの表現力や情緒など感情について、文字や言葉の獲得など成長には欠かせないツールのため、子ども達の絵本好きをより深めたり、いつでも読みたい絵本コーナーの作製を行う。

○板橋区が『絵本のまちいたばし』として絵本に力を入れており、毎月図書館の読み聞かせや区からの各家庭に赤ちゃん絵本の配布など子ども達は絵本にふれる機会が多く保育園でも開設当初から絵本に力を入れ大切にしてきた。改めて子ども達、職員共に絵本について考える機会にする。

<内容>

○絵本コーナーの環境を子ども達中心に新しくデザインし、より絵本を好きになったり、新しい空間の中でわくわくな発見につなげ、発見を次に生かし良いものに変化を続ける。

○絵本について子ども達一人ひとりやみんなで色々なアプローチで考えたり、共有したり、表現したりしていく中で絵本について深く探求する機会をつくり絵本を通しての心身の成長につなげたり、絵本を読み解き表現や製作等に生かしていく

2. 活動スケジュール

① 絵本をみんなに好きになってもらう・ずっと居たくなる絵本コーナーの空間づくり (7, 8, 9月)

- ・職員で絵本係を設定し子ども達に読んでほしい絵本の選定、絵考える。
- ・常設絵本交換ポスト『どうぞの絵本』を実施
- ・本を読める場所、子どもの楽しい空間づくりとして玄関の絵本コーナーと2F 絵本コーナーの変更

② 幼児3クラス 好きな絵本や読みたい絵本について話し合い (10月)

- ・自分の好きな絵本を相手に発表する。
- ・保育園に欲しい絵本をみんなで意見を出し合う。
- ・他の友だちに薦める本を紹介する。

③ 夢の絵本コーナーの話し合い (11月)

- ・どんな絵本コーナーがいいか、どんなものを置きたいかなど意見を出し合う。

④ 好きな絵本をみんなに知らせよう (12月)

- ・自分の好きな絵本の絵を描いて表現、張り出す。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定

実際に絵本コーナーに子ども達といき、空間の様子や広さなど等身大で感じてもらってから、活動を始める。設計図をグループごとに準備し友だち同士意見を伝えあったり、絵や文字を使って表現していく。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ③ 夢の絵本コーナーの話し合い（4歳児→11月29日 5歳児→11月21日）
- ・ 2F 絵本コーナーにどんなものを置きたいかな、どんな空間にしたいかななど意見を出し合う。
 - ・ 絵本コーナーの設計図・図面を実際にみせながら子ども達には絵や文字を書きこんでいき表現する。

<活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育士とのやり取り>

（5歳児）

絵本コーナー改造の話をする子ども達からすぐに色々なアイデアが出てきていて「一人で読みたい」「秘密基地が欲しい」「クッションが欲しい」「みんなで読めるテーブルが欲しい」「虫眼鏡で図鑑を見たいなど」子ども達らしい案が出てきていて一人の女児が「芝生で寝ながら読みたい」というと「いいね」「私も寝たい」と好反応があり半分は芝生をひくのはどうかと子ども達に質問すると全員が「いいよ」「賛成」となり芝生をひいて靴を脱いでリラックス（ねころがる）コーナーとイスで読めるコーナーで計画することになる。

小グループで意見交換の話し合いの時間を持ってから子ども達みんなで集まり話し合いになると「たくさんの絵本に囲まれたい」「本棚はたくさんほしいな」「どこからでも絵本が取れる」など絵本コーナー＝本が溢れている図書館や本屋さんのような空間をイメージしにしている大型の本棚を設置を検討する。

その後、一人ずつ絵本コーナーについて聞いていきこたえるごとに「それなら」「〇〇はどう」などどんどん新しい案が出てきて子ども達はイメージで笑顔溢れていた。

中には自分たちで椅子を作ろうと計画している子がおり、「お菓子の箱とラップの芯でつくれるかな」「木で作ろうかな」など計画を話してくれた。

（4歳児）

まず、夢の絵本コーナーについて子ども達に考えてほしいことを伝え、今決まっていることは2つのコーナーを作ることを伝える。

実際の絵本コーナーに全員でいき子ども達にイメージを作ってもらおう。まず子ども達は図書館のイメージあるようで「本がたくさんある」「絵本たくさん並んでいる」という声があった。

歩き回りながら「ここは座るコーナーがいいな」「お家みたいに寝転がりしたいな」「布団が欲しい」「クッションやぬいぐるみにかこまれたいな」など子ども達独自の声が聞こえてきました。

イメージを持ったあとはグループごとに分かれて話し合いと絵本コーナーの図面に実際に設置したいものを絵や文字で記入しグループごとに発表する。

地域との交流の一つとして隣接の小中学校に絵本を通したSDGsの取り組みで読み終わった家庭の絵本を保育園子ども達にプレゼントしてもらおう事を行い、30冊を超える絵本の寄付がりそれを4、5歳の子もたちみんなでリュックを背負って受け取りに行きました。戻ってきた子どもたちは「どこにおくの」「絵本並べてみたい」「早く見たいな」など絵本に並べて読みたい声がありました。

<写真>

☆4歳児



- ・絵本コーナーを歩きながらどんなものを置きたいかイメージをわかす。
- ・座るクッションコーナーをイメージして友だちと座っている写真

☆5歳児



絵本コーナー会議の様子（写真左）

一人の子が発言すると「ハイ！」と手を挙げて新しい意見が出ている（写真右）



- ・子ども達の意見を一枚の設計図にまとめる（写真右）

○振り返り 気づき

夢の絵本コーナーの話をする子どもたちからは様々な意見が出てくる。

個人個人が経験したことや見たこと、行ったことある場所からイメージを持って発表していた。中には現実的でない物や絵本コーナーには合わない意見もあったがそれも一人ずつの意見なので尊重しながら子ども達と進める部分、職員で準備、用意し子ども達に体験してもらう部分があるので精査しながら環境構成を進める。芝生の寝転がりたいという意見には絵本を寝転がってよむという事には、係でも話し合いがあり、長時間ではなくこの特別な空間だからなど今後子ども達とルールを検討していくこととする。

寄付頂いた絵本はどこに置くのか子ども達から多く声があったが本棚が足りない問題がある為環境を作る部分で本段の設置や準備が1地番必要と感じ、設置してからの様子も記録していきたい。